

行政参考事項（農業行政施策の企画・遂行に有効な事項）の4事項よりなる。

なお、表一4に示した農林水産省研究機関の参加形態等はさらに検討がなされるとのことであり、次年度以降、変更になる可能性がある。

4. おわりに

両会議の運営に係わる事務を、農林水産省北海道農業試験場では企画連絡室が、北海道立中

央農業試験場では企画情報室が担当するが、当研究所では農業開発部が担当する。

今後、当研究所農業開発部は、北海道における農業農村整備に係わる課題の解決のために、農林水産省や北海道立の農業試験場などとともに、より一層努力したい。このため、関係各位の御指導を御願いたい。

（記 石渡輝夫）

サ □ ソ

オタクとアンタとソッチ

日本語には実に多様な2人称がある。キミ、オタク、アンタ、アナタ、キサマ、オマエ。ソッチなんてのもある。英語にも、you 以外に、you guy(s), man!, buster! などがある。前者は「お前(ら)」，後の二つは「この野郎！」あるいは「おい！」か。日常的には、若者がよく使う you guy(s) が you 以外で使われる唯一の2人称表現と言える。この意味で、英語は実に単純な言語である。

さて、日本語である。先ず「キミ」。これは同年あるいは年下のものに対して使われる。しかし、自分の立場あるいは相手との親しさの度合いにより、誰に対しても使えるという訳ではない。年上の人に対して使うには大変勇気がいる。

「オタク」には、二つの使い方があるように思われる。一つは、相手の名前が分からない場合あるいは「様」をつけて自分が下位であることを示したい場合である。他の一つは、非常にぞんざいな物言いによって自分が上位であることを強調したい場合あるいは相手の名前を口に出すのもいやな場合である。すなわち、できるだけ相手の存在を無視したい状況でこの言葉が使われることが多い。これと同じ意味合いで「ソッチ」があるが、これは論外。

「アンタ」という語感も、その中に相手を個人として尊重する気持のない響きをもつ。「アンタ」の丁寧語が「アナタ」？ この言葉もかなりデリケートな意味合いをもつ。すなわち、その意味するところが広いのである。夫婦あるいは恋人同士の会話の中で女性がやさしい調子で用いるとほのぼのとしたものとなるが、女房にあるいは職場などで改まった調子でこれが用いられたら要注意。決していい状況にないことが分る。ただし、相手の名前が全く分からない場合の表現としては、それ程不快感を感じさせるものではない。少なくとも「オタク」の第2の用法よりはるかに相手を認めた表現であろう。

人々が言葉に対して持っているニュアンスは、年代あるいは生活環境によって微妙に異なるものであるから、上記の解釈は必ずしも適当ではないかもしれない。何れにしても、日本語の2人称は多様であり、その用法は人間の品格にも関わってくるように思われるのである。自戒したい。

（記 堺 孝司）